12 月 10 日～12 日、新木場の工場など 9 会場をひらく
「SHINKIBA CREATIVE HUB 2026」全コンテンツを発表

～ものづくり体験やマーケット、食、無料巡回バスも。地域の企業・学校など 26 団体が参加～



SHINKIBA CREATIVE HUB 実行委員会（事務局：株式会社博展、株式会社榎戸材木店）は、2026 年 12 月 10 日(木)から 12 日(土)の 3 日間､新木場･辰巳エリアで開催する地域回遊型イベント｢SHINKIBA CREATIVE HUB 2026（通称：シンハブ)」の全コンテンツを発表しました。

かつて日本有数の“木材のまち”として栄え、いまは事業者数が最盛期の半数未満となった新木場で、地域の企業が工場や自社施設をひらきます。今年は「OPEN FACTORY & EXHIBITION」として 9 会場が決定。新木場の素材でつくるワークショップや、今年初開催の「シンハブ MARKET」(12 月 12 日(土)限定）も登場します。さらに、会場同士をつなぐ「無料巡回バス」が周遊し、よりスムーズに会場全体をお楽しみいただけるようにアップデートしました。

昨年は 14 社が参画し、3 日間で延べ 3,282 人が来場しました。今年は参画する企業・団体が 26 に広がり、昨年の約 2 倍の規模で開催します。

公式サイト：http://shinkiba-creative-hub.com/

コンセプトムービー（YouTube）：https://youtu.be/dtp0dlN_BD8

「SHINKIBA CREATIVE HUB 2026」では、会期中（12 月 10 日～12 日）の取材を受け付けております。普段は公開していない工場や倉庫の様子、職人・作り手へのインタビュー、ワークショップの撮影など、ご希望に合わせてご案内いたします。取材をご希望の方は、下記フォームよりお申し込みください。※取材はマーケットが開催されている 12 月 12 日推奨です。

https://forms.gle/G8RbLEPmeRURZTr58　（Hakuten Open Studio の取材フォームも併用しています。ご了承ください）

＜取材に関するお問い合わせ＞株式会社博展　広報・PR 担当　E-Mail：pr@hakuten.co.jp　｜携帯：070-2199-6703（広報・松浦）

“新木場の工場、今年もちょっと覗けます。”シンハブ 今年の注目コンテンツ

01. OPEN FACTORY & EXHIBITION ― 9 会場が決定



新木場・辰巳エリアに拠点を構える企業が、工場や自社施設の扉をひらきます。普段は入ることのできない現場で、素材や技術、そこで働く人々の営みにふれられる、シンハブの目玉企画です。

新木場には、倉庫で出番を待つ木材や、加工の途中で生まれる木端（こっぱ）があり、材木店以外にもものづくりの会社が数多くあります。今年は材木店の倉庫に加えて、空間づくりの会社の制作スタジオ、人形アニメーションのスタジオ、植物の会社、高校生と取り組む食の企画まで、9 つの会場が登場します。この街にひそむ“見えなかった資源”に出会える 3 日間です。

＜会場一覧＞

01｜STOCK YARD OPEN DAY（高広木材株式会社）― ここにある木、買えます

新木場駅徒歩 1 分。カナダ産ウエスタンレッドシダー木材を扱う専門店

02｜HAKUTEN OPEN STUDIO 2026（株式会社博展）― 巨大な実験室、今年も公開中。

HAKUTEN の 1 年間のプロジェクトや実験的な取り組みを公開する。（予約制）

https://hos.hakuten.co.jp/

Hakuten Open Studio 2026（12/9-12/12） 開催リリースは以下

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000199.000039931.html

03｜TECARAT OPEN STUDIO（TECARAT／太陽企画株式会社）― お見せします。人形アニメーションの舞台裏

人形や小道具を 1 フレームずつ動かし命を吹き込む、太陽企画のコマ撮りスタジオ。

04｜SHOWA TOKYO OPEN PORT（昭和木材株式会社）— ここは、木の港。

各種広葉樹材、造作用集成材、合板等を関東一円に販売する拠点「PORT」。

05｜LOSS GREEN MARKET & BOTANICAL MATERIAL LAB.（株式会社ユニバーサル園芸社）— 植物と人の出会いを

ロット余りのプランターやケース余りの植物を、特別価格で展示販売します。

06｜RE:FIT（株式会社博展×株式会社東合板商会）— 下地の役割を再定義する

廃棄衣類から生まれた再生素材「PANECO® board M」を用いたインスタレーション公開。

07｜TAKIGUCHI OPEN SO-KO（瀧口木材株式会社）— 今年も、中、入れます。

和室天井材から、大判のスギ突板を使用した試作品まで紹介します。

08｜STREET WOOD MARKET（株式会社阿部清商店）— 新木場のことなら、なんでも聞いて

製材や納材の過程で出た切り落とし材を、路上展示・販売しています。

09｜SHINKIBA PIZZA Project（かえつ有明高等学校×soko station 146）— 新木場を、一枚のピザに



01｜STOCK YARD OPEN DAY



02｜HAKUTEN OPEN STUDIO 2026



03｜TECARAT OPEN STUDIO

※会場によって開催日・時間が異なります。

※一部の会場は事前予約制です。詳細は公式サイトをご確認ください。



新木場を「味わう」—09. SHINKIBA PIZZA Project



倉庫をリノベーションしたカフェ「soko station 146」では、江東区のかえつ有明高等学校の生徒と共創する「SHINKIBA PIZZA Project」を実施します。生徒たちの地域リサーチをもとに、新木場という街を一枚のピザに“翻訳”。新木場を「見る」だけでなく「味わう」体験を届けます。

•日時：12 月 10 日（木）、11 日（金）、12 日（土） 11:00〜17:00 / 最終日のみ 16:00 まで

02. WORKSHOP — 新木場の素材でつくる、ものづくり体験（12 月 12 日（土）中心に開催）



12 月 12 日（土）中心に、OPEN FACTORY の各会場では新木場の素材や職人の技にふれるワークショップを開催します。材木屋さんに教わるロープの結び方から、オリーブ材のカッティングボードづくりまで、子どもから大人まで気軽に参加できます。

A. 材木屋のロープ術＆小さな椅子作り体験（株式会社阿部清商店）

新木場の材木屋さんにロープの結び方や釘打ちを教わり、端材で小さな椅子をつくります。

B. レッドシダーの未活用材で、ものづくり（高広木材株式会社）

使い道のなかったカナダ産レッドシダーを、家具メーカーや学生たちが企画したワークショップで生かします。

C. オリーブカッティングボード作り（昭和木材株式会社）

チュニジア産のオリーブ材を、自分好みの形のカッティングボードに仕上げます。

D. Botanical Material Lab.（株式会社ユニバーサル園芸社）

木の実や自然素材の端材、ドライフラワーなどを組み合わせて、オーナメントや小物をつくります。

※一部のワークショップは事前予約制です。 詳細はシンハブ公式 Instagram にてご確認ください。

03. シンハブ MARKET ― 木が行き交う、まちのマーケット（12 月 12 日（土）限定）



今年初開催となるマーケットでは、新木場の企業や、この街とつながりのある作り手たちが集まり、木の素材や技術を生かしたものづくりを紹介・販売します。

埼玉県飯能市の「西川材」や広葉樹を使ったリースや小物、フィンランドバーチ材のデザインスピーカー、木材屋ならではの音の工夫を詰めた本格カホンの組み立てキット、木材の運搬用梱包材を使ったオリジナルバッグ（限定販売）などが並びます。北海道産ミズナラを使ったウイスキーボトルとウッドチップの展示もあり、普段はなかなか出会えない木の魅力を手に取って楽しめます。会場では、新木場に集まる木端で拍子木をつくる「SHINKIBA KIZUTSUMI」や、丸太から小さなサンタをつくるワークショップも開催。キッチンカーによる温かい軽食も楽しめます。マーケットを起点に、街のあちこちでひらかれている工場へも足をのばしてみてください。

- 日時：2026 年 12 月 12 日（土）11:00〜17:00
- 会場：瀧口木材株式会社前（東京都江東区新木場 1-2-17）
- 出展：SHINKIBA CREATIVE HUB 実行委員会／あいはらの木／うみねこ食堂／江東ブランド／COCOChi／株式会社新宮商行／Taguchi Factory／株式会社フォレスト西川　※出展者・内容は変更になる場合があります。

お役立ち情報：会場と会場をつなぐ無料巡回レトロバス



新木場・辰巳に点在する会場を結ぶ「無料巡回レトロバス」が、3 日間限定で新木場エリアを走行します。一日を通して約 15 分間隔で巡回し、まちの広がりを感じながら会場を巡ることができます。

- 日時：12 月 10 日（木）、11 日（金）、12 日（土）
- 主催：株式会社アップスター

新木場の“人”と出会う企画ー新木場トレカ＆ステッカー



ここでしか手に入らない！新木場のキーパーソンを紹介する、オリジナルの「新木場トレカ」が新登場します。カードは全部で 10 種類。会社の紹介だけでなく、その人のパーソナリティや「こんな話をしてみてほしい」という会話のヒントも掲載されています。各会場でカードの人物に声をかけると、新木場ならではのモチーフをあしらった特別仕様のステッカーをプレゼントします。(トレカ・ステッカーともに無くなり次第終了。)

※配布場所・詳細は、追ってシンハブ公式 instagram にてご案内いたします。

「SHINKIBA CREATIVE HUB 2026」開催概要

実施期間	2026 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）（3 日間）11:00～17:00 （各拠点により前後する可能性があります）
実施エリア	新木場、辰巳エリア（各参加企業の拠点にて実施）
参加費用	無料（一部ワークショップ等は有料）
参加方法	一部の会場・ワークショップは事前予約が必要です
主催	SHINKIBA CREATIVE HUB 実行委員会
後援	江東区／東京新木場木材商工協同組合
協賛	株式会社榎戸材木店／東京原木協同組合／株式会社博展（HAKUTEN｜Studio コー）
公式サイト	http://shinkiba-creative-hub.com/
公式 Instagram	https://www.instagram.com/shinkiba_creative_hub/

SHINKIBA CREATIVE HUB（シンハブ）とは



「SHINKIBA CREATIVE HUB」は、街の積み重ねを、いまの視点で“かさねなおす”ように社会へひらく試みです。2025 年、新木場・辰巳に拠点を持つ株式会社博展と株式会社榎戸材木店を中心にスタートしました。

かつて木材関連業者が集まる日本有数の木材のまちとして栄えた新木場は、需要構造の変化や担い手の世代交代を背景に、現在は事業者数が最盛期の半数未満に減少し、新たな転換期を迎えています。一方で、街を歩くと面白い取り組みをする企業や昔ながらの材木店など、魅力がたくさん見つかります。シンハブは、普段は入れない企業や工場をひらき、そこにある素材・技術・人々を通して新木場の魅力に触れられる地域回遊型イベントです。

『CREATIVE』は、街をおもしろがり、可能性を発見する気持ち。『HUB』は、様々なつながりを育み、まちの次の一歩を考える場として。工場や会社の扉を開き、素材・技術・人々を公開することで、来場者とともに“まち”をもう一度重ねなおす実験の場をつくります。

3,282 人が来場！昨年のシンハブの様子



昨年初開催となったシンハブは、総勢 14 社が賛同し、3 日間で延べ 3,282 人※が来場しました。平日はビジネスパーソン、休日はお子様連れを含めた一般の方が多く訪れ、普段見られない施設内や珍しい素材・材木、地域の方とのふれあいを楽しみました。来場者アンケートでは体験者満足度 90%以上を記録しました。 ※各出展企業のポイント計測による主催者調べ

＜昨年の様子（YouTube）＞

https://youtu.be/pOeqDxZacCc

SHINKIBA CREATIVE HUB 実行体制

主催：SHINKIBA CREATIVE HUB 実行委員会（株式会社博展 × 株式会社榎戸材木店）

後援：江東区／東京新木場木材商工協同組合

協賛：株式会社榎戸材木店／東京原木協同組合／株式会社博展（HAKUTEN | Studio コー）

協力（シンハブサポーターズ、全 21 企業・団体）：

あいはらの木／株式会社東合板商会／アトリエ株式会社（soko station 146）／株式会社阿部清商店／株式会社アップスター／かえつ有明中・高等学校／江東ブランド／COCOChi／サイショウ・エクスプレス株式会社／齋藤木材株式会社／株式会社沢田フォーレスト／JR 東日本ホテルメッツ プレミア 東京ベイ新木場／昭和木材株式会社／株式会社新宮商行／高広木材株式会社／瀧口木材株式会社／Taguchi Factory／TECARAT（太陽企画株式会社）／東京臨海高速鉄道株式会社／株式会社フォレスト西川／株式会社ユニバーサル園芸社

広報パートナー：TECARAT（太陽企画株式会社）

TECARAT は、総合映像制作会社である太陽企画株式会社が運営する、ストップモーションアニメーション制作、映像美術制作を行うチーム／スタジオです。本リリース掲載のコンセプトムービーも TECARAT が制作しました。

公式サイト：https://tecarat.jp/

コンセプトムービー（YouTube）：https://youtu.be/dtp0dlN_BD8

＜株式会社博展＞

代表者：代表取締役 会長執行役員／田口 徳久、代表取締役 社長執行役員 CEO／原田 淳

所在地：〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 1 番 1 号 東京スクエアガーデン 20F

設立：1970 年 3 月

事業内容：パーパス「人と社会のコミュニケーションにココロを通わせ、未来へつなげる原動力をつくる。」のもと、多様な“体験”を統合的にデザインし、企業や団体のマーケティング課題の解決に貢献しています。

＞コーポレートサイト：https://www.hakuten.co.jp

＜イベントに関するお問い合わせ＞

SHINKIBA CREATIVE HUB 実行委員会　E-mail：shin_hub@eventsupporter.jp

＜取材に関するお問い合わせ＞

株式会社博展　広報・PR 担当　E-Mail：pr@hakuten.co.jp

「SHINKIBA CREATIVE HUB 2026」では、会期中（12 月 10 日～12 日）の取材を受け付けております。普段は公開していない工場や倉庫の様子、職人・作り手へのインタビュー、ワークショップの撮影など、ご希望に合わせてご案内いたします。取材をご希望の方は、下記フォームよりお申し込みください。※取材はマーケットが開催されている 12 月 12 日推奨です。

https://forms.gle/G8RbLEPmeRURZTr58　（Hakuten Open Studio の取材フォームも併用しています。ご了承ください）

＜取材に関するお問い合わせ＞株式会社博展　広報・PR 担当　E-Mail：pr@hakuten.co.jp　｜携帯：070-2199-6703（広報・松浦）